

TOKYO NEW FARMER'S REAL!

東京都内新規就農者のリアル

少量多品種で ひとつひとつ 丁寧に育てる。

FARMER'S FILE.

青梅市

SHIMIZU HIROHISA & MAIKO

清水 寛久・麻衣子

青梅清水農園



じぶんたちにあった バランスのよい農業

2017年8月に就農しました。以前は、家具屋に勤めていて、埼玉県から青梅市に移住して来ました。

夫婦でできる仕事を探していたところ、家族で仕事をするイメージのあった農業をはじめたいと思ったのがきっかけです。

農業不使用と少量多品種

ピーツやイタリアの赤レタスのラディッキオ、白かぶなど、年間約100種類の西洋野菜や伝統野菜をつくっています。現在は農業や肥料を使わずに育てているので、その時々野菜の様子を観察したり、気候にあわせて、野菜が育ちやすいときに育てるようにしています。除草剤も使っていないので、野菜に近い場所など機械が使えず、手でしか除草できないところの草取りには苦労しています。

お客様に喜んでいただくために、固定種や西洋野菜など様々な品種を育てています。例えば同じカブでも、サラダ向きや、煮物向きなど品種の違いを楽しめるように、袋に説明文をつけています。

マルシェやCSAをとおして 感じる意識の変化

以前は都心や立川市内に行かないと農業不使用の野菜は需要がありませんでしたという意識が私たちにもあったと思います。でも昨年くらいから青梅市内で農業や化学肥料不使用の野菜が欲しいという人たちに出会える機会が増えてきて、少しずつ認識されていくことを肌で感じています。



少しでも多くの 野菜を届けるために

6年が経ち課題として、作業場に投資しないと、これ以上は伸びないというのが見えてきました。畑に電気や水道がないので、やはり効率的に限界かなと感じています。現在は自宅のひと部屋を育苗に使っていたりするので、育苗ハウスや保冷庫を用意していきたいです。

今は声をかけていただいても、出せる量が限られているので、要望に応えつつも、じぶんたちにあったちょうどよいバランスのとれた農業を模索していきたいと考えています。

東京NEO-FARMERS!

